

# Security Platform

守るだけじゃない。-物理セキュリティ-

株式会社セキュア（証券コード：4264）

**Anna**

- Age : 28
- Job : Full Time
- Sex : Woman

↓ 35.5" | ❤️ bpm 65 | 57%

**Jessica**

- Age : 26
- Job : Full Time
- Sex : Woman

R1



SECURE

Financial results for the fiscal year ending December 2023

2023年12月期第3四半期決算説明資料

Nov 10, 2023

## FY2023 Q3進捗

## 売上高累計

3,794百万円

前年同期比  
+59.8%進捗率  
74.4%

## 営業利益累計

201百万円

前年同期比  
+311百万円進捗率  
111.8%

- ✓ Q3は大型案件の端境期となるも通常案件は計画通り順調な成長
- ✓ 展示会等のマーケティングに積極的な投資を行った結果、販管費はQ2対比で48百万円増えるも当初想定程は使わず、Q3単体でも黒字を達成
- ✓ セールス・マーケ人員はQ2と比較し1名減少も入退社タイミングの差に起因するものであり、通期では計画通り20名弱程度の新規採用を想定
- ✓ 上期の展示会や7月にオープンしたSECURE AI STORE LAB2.0等を通してレジレス・無人決済に関しての引き合いが拡大しており、来期に向けて商談を継続

## FY2023の見込み

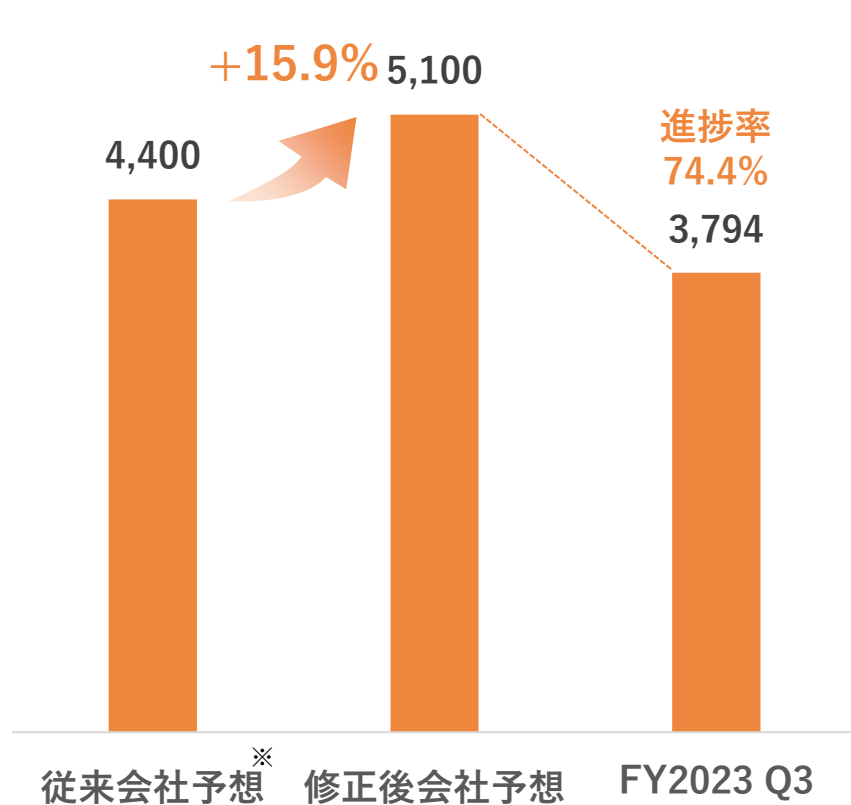
- ✓ 半導体等の影響による期ズレは2022年度でほぼ解消。年率50%の売上成長を見込む  
(年率30%→50%へ上方修正)
- ✓ 利益は更なる売上成長実現のための先行投資を実施しつつ黒字化を計画
- ✓ FY2022に採用した営業人員は1.5~2年程度での戦力化を想定  
FY2023下期頃から徐々に貢献を期待

## Q3の実績を踏まえて、業績予想を上方修正

Q4はQ3に引き続き採用やマーケティング、R&D等への先行投資を継続  
また、期末決算にて棚卸資産の減損損失を計上予定

### 売上高

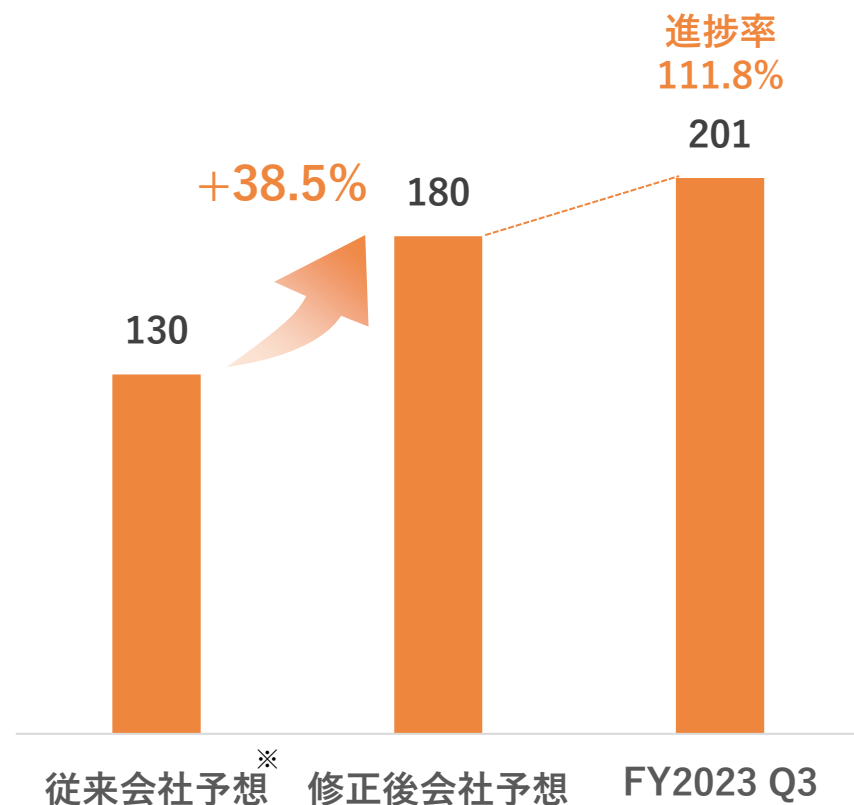
(百万円)



\*従来予想は2023年5月12日発表

### 営業利益

(百万円)



\*従来予想は2023年5月12日発表

Q3累計売上高は**前年同期比+59%の成長**、サービス別も順調に進捗  
 販管費はQ2対比で48百万増えるも当初想定程は使わず、営業利益は**201百万円の黒字**

(百万円)	FY2022 Q3累計実績	FY2023 業績予想*	FY2023 Q3累計実績	前年同期比 (FY22-23比較)		業績予想 達成率
				増減額	増減率	
<b>売上高</b>	2,374	5,100	<b>3,794</b>	+1,420	+59.8%	74.4%
SECURE AC (入退室管理システム)	692	1,350	<b>1,065</b>	+373	+53.9%	78.9%
SECURE VS (監視カメラシステム)	1,580	3,600	<b>2,600</b>	+1,020	+64.6%	72.2%
SECURE analytics (画像解析サービス) / その他	101	150	<b>128</b>	+27	+26.5%	86.0%
<b>売上総利益</b>	951	-	<b>1,509</b>	+558	+58.7%	-
<b>販売管理費</b>	1,061	-	<b>1,308</b>	+246	+23.2%	-
<b>営業利益</b>	△110	180	<b>201</b>	+311	-	111.8%
営業利益率 (%)	-	3.5%	<b>5.3%</b>	-	-	-
<b>経常利益</b>	△118	165	<b>195</b>	+313	-	118.3%
<b>税引前当期純利益</b>	△118	-	<b>195</b>	+313	-	-
<b>当期純利益</b>	△169	145	<b>162</b>	+332	-	112.4%

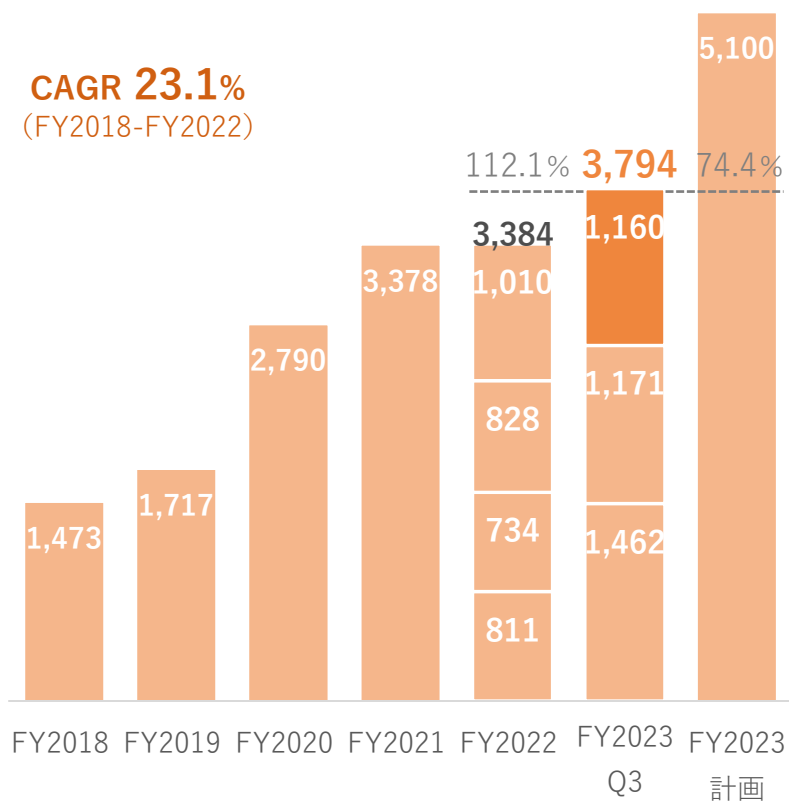
\*業績予想は2023年11月10日発表

Q3売上高は前年同期比で増収で着地し、**通期計画進捗率は74%を達成**

大型案件は端境期となるも一般案件は順調に進捗、売上総利益率は39%水準を維持

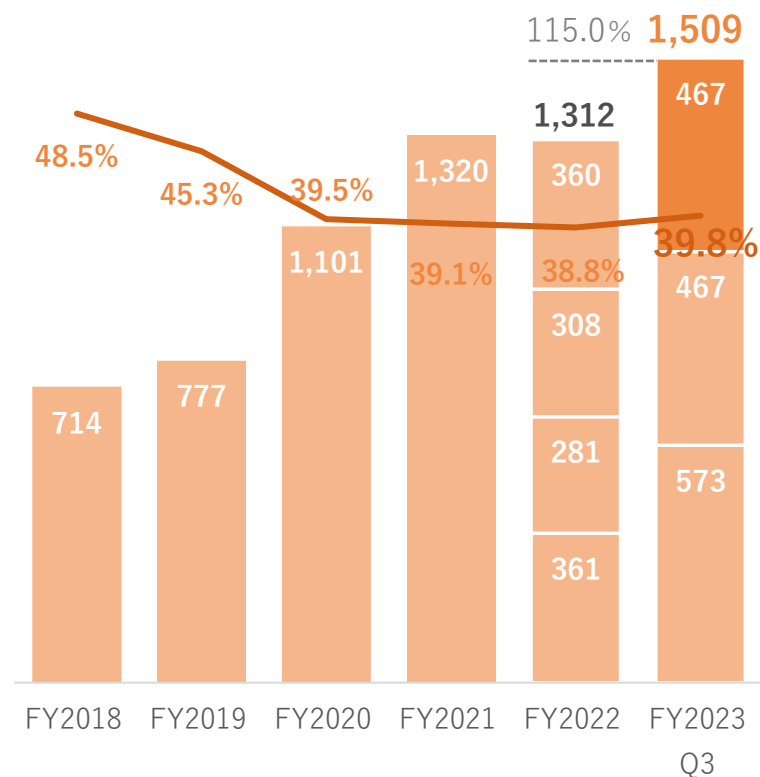
## 売上高

(百万円)



## 売上総利益・総利益率

(百万円・%)



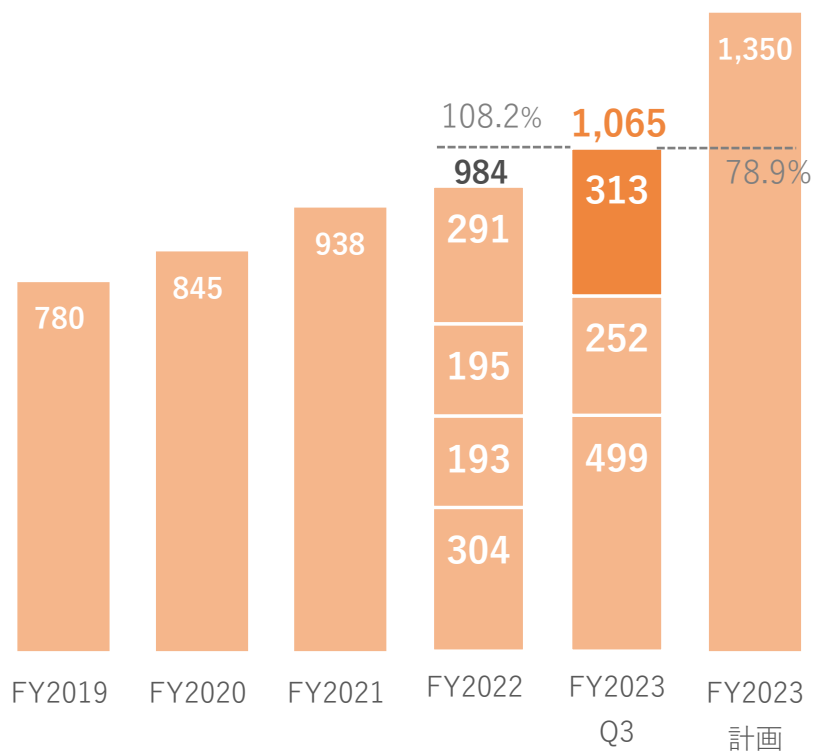
# 「SECURE AC」業績推移

前年同期比で増収を達成、**通期計画進捗率は79%**

小規模から**中・大型案件へのシフトは順調に進捗**、顔認証の導入数は前年同期比+20%の増加

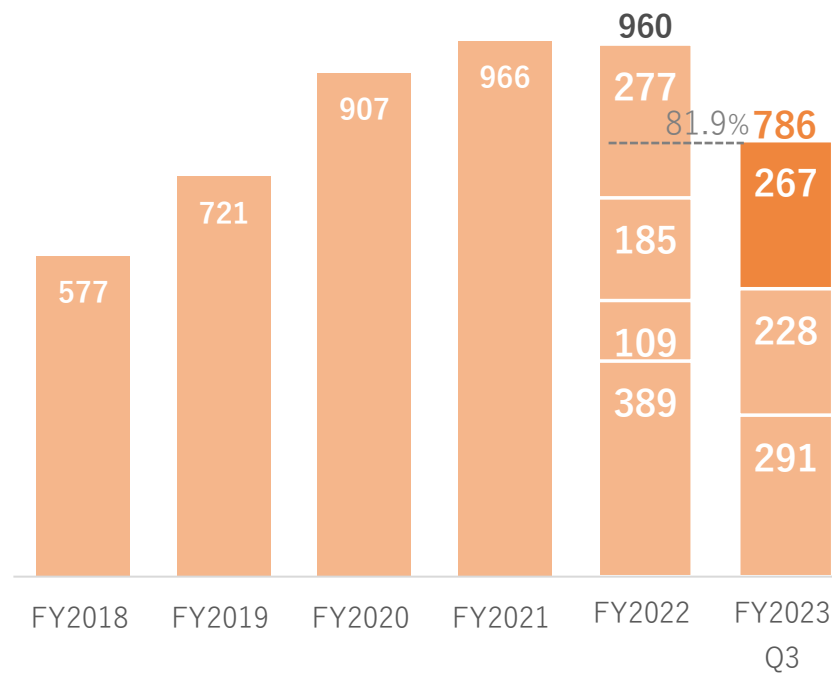
### 売上高

(百万円)



### SECURE AC 導入件数

(件)

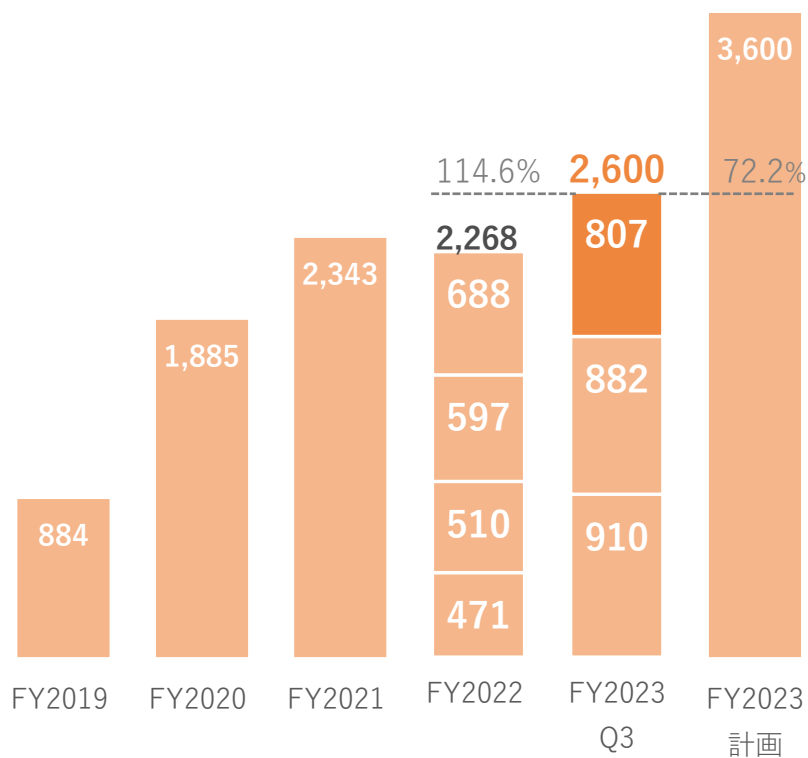


# 「SECURE VS」業績推移

前年同期比で増収を達成、**計画進捗率は72%**、物流施設・店舗（ドラッグストア、コンビニ）等の大型案件は端境期だが、中小型案件は引き続き好調に推移

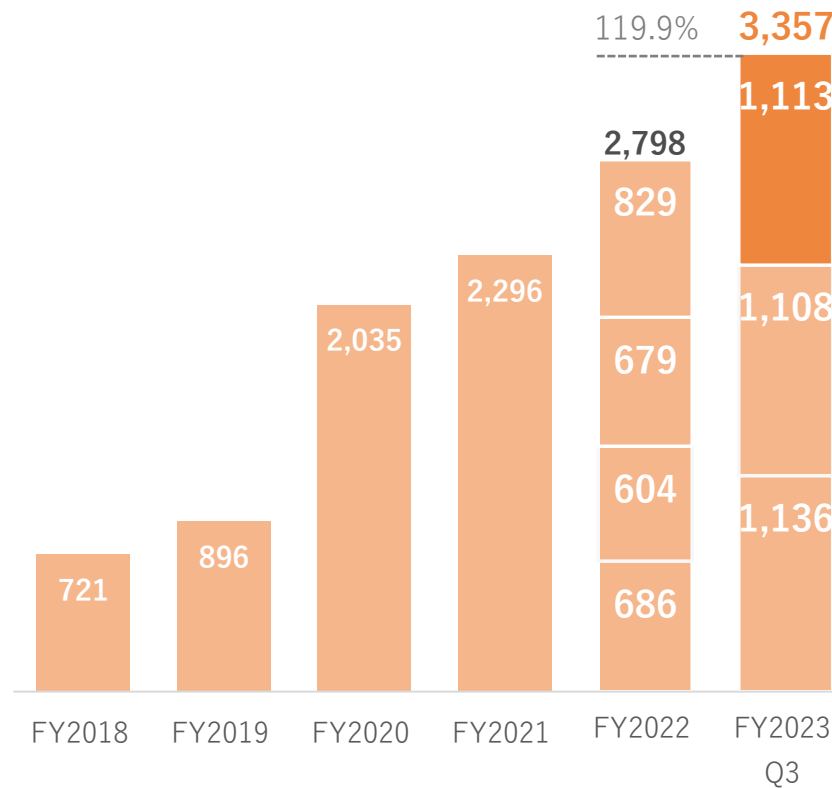
売上高

(百万円)



SECURE VS 導入件数

(件)



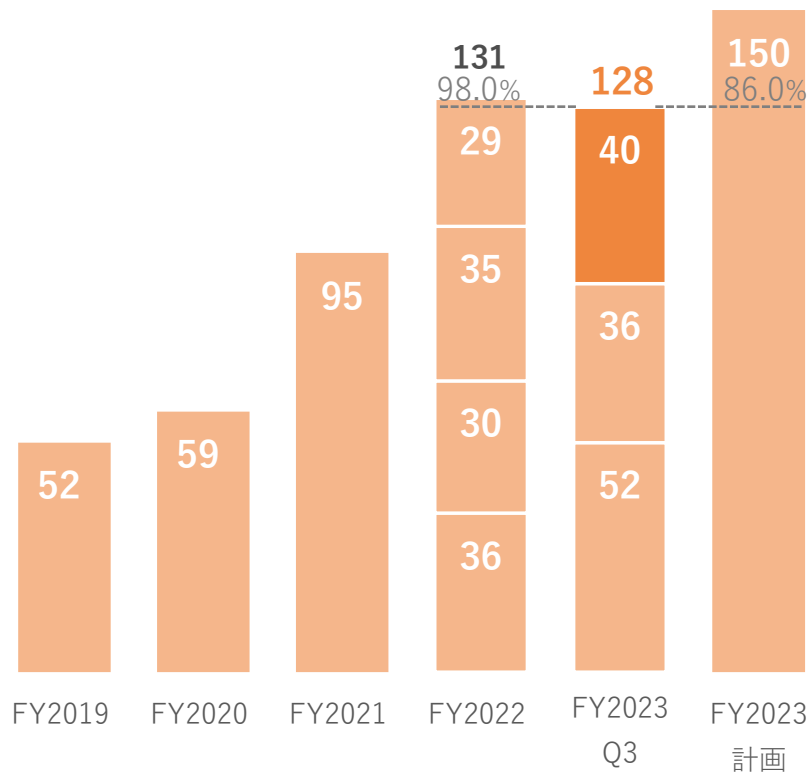


# 「SECURE Analytics/その他」業績推移

売上高は前期比増収、計画を上回って着地  
ショッピングモールにてマーケティングに活用

## SECURE Analytics / その他 売上高

(百万円)



## SECURE Analytics 導入事例

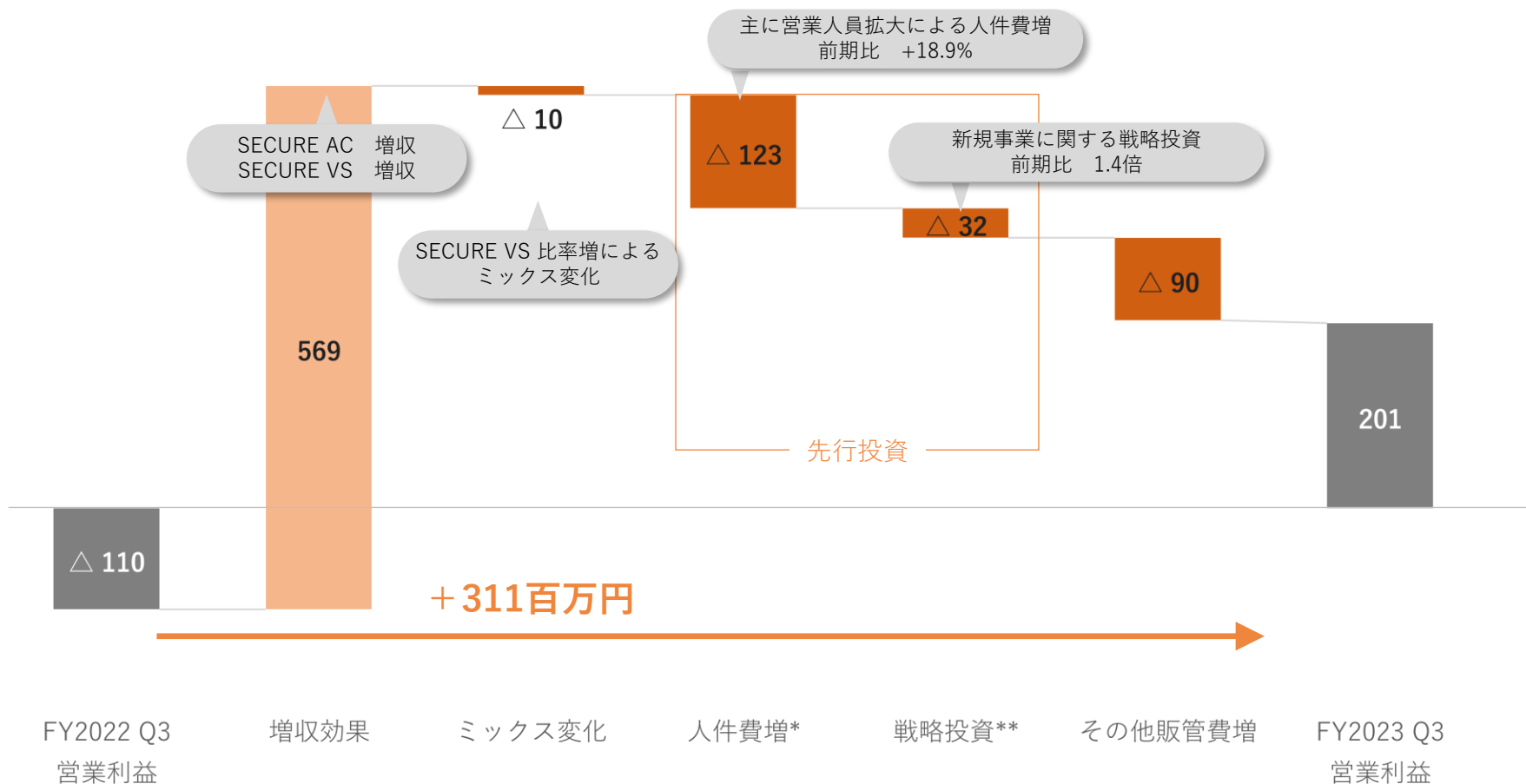


ショッピングモールにて出入口毎の通行人数を計測  
売上データと連携してマーケティングに活用



# 営業利益増減要因分析

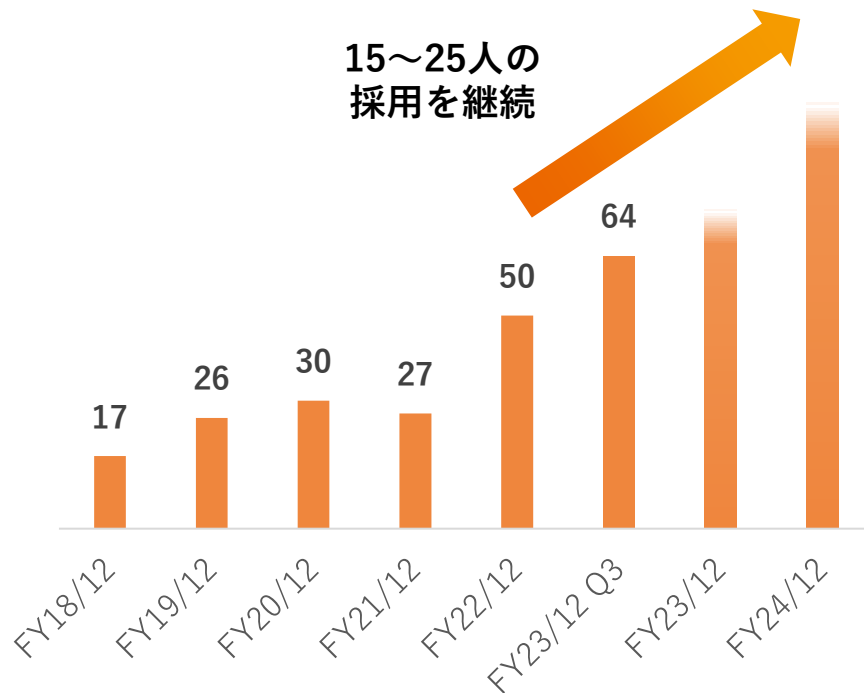
増収効果により営業利益は311百万円増の201百万円で着地  
 成長に向けた「人件費」と「戦略投資」の先行投資はおおむね計画通り実施



\*人件費 = 給与・賞与・法定福利費等 / \*\*戦略費 = 広告宣伝費・研究開発費等

Q2と比較し1名減少も入退社タイミングの差に起因するものであり、通期では計画通り20名弱程度の新規採用を想定、セールス人員に向けた当社独自の研修制度を構築し、早期の戦力化を目指す

## セールス・マーケティング人員数推移



営業人員の成熟化までは約1.5~2年  
先んじて採用を行い、業績拡大に繋げる

## 拠点拡大



- 22年7月名古屋オフィス開設
- 23年1月大宮・横浜オフィス開設
- 23年4月広島オフィス開設

## 基盤強化



- マーケティング活動の強化
- Security System Labにおける独自の教育制度
- 採用力の強化

7月3日にAIを活用したレジレス無人決済店舗「SECURE AI STORE LAB2.0」をオープン  
レジレス・無人決済に関しての引き合いが拡大しており、来期に向けて商談を継続

## 新宿住友ビルにて実証実験を開始

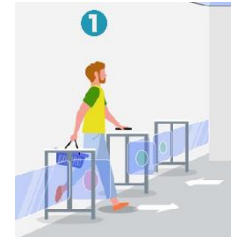


AI STORE LABで  
未来の買い物を  
体験しませんか？

所在地: 新宿住友ビル (大江戸線「都庁前」駅直結)  
営業時間: 9:00~23:00  
定休日: 土日祝

### STEP 1

専用アプリをダウンロード  
登録後、アプリに表示される  
QRコードをかざすだけで入店



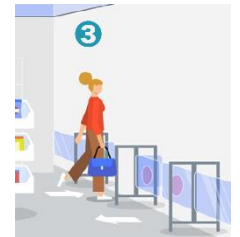
### STEP 2

AIによる行動解析  
15台のカメラの情報を統合し  
正確に行動を把握  
手に取るだけで商品を認識



### STEP 3

そのまま退店するだけで  
お会計が完了  
決済情報はアプリに送信



今年から来年初旬にかけて新たな取り組みも予定  
店舗だけでなくスタジアム等での活用も検討

来期以降の案件獲得のためのマーケティング投資として、「働き方改革Week2023」と「フードセーフティジャパン（FSJ）2023」の展示会に出展、目標としたリードの獲得は達成



BIJ「働き方改革Week2023」出展ブース



「フードセーフティジャパン（FSJ）2023」出展ブース



## Q3実績を踏まえ業績予想を上方修正

Q4はQ3に引き続き採用やマーケティング、R&D等への先行投資を継続  
また、期末決算にて棚卸資産の減損損失を計上予定

(百万円)	FY2022	FY2023	FY2023業績予想			修正後対前期比
	実績	Q3実績	修正前*	修正後**	修正額	増減率
<b>売上高</b>	3,384	3,794	4,400	<b>5,100</b>	+700	+50.7%
SECURE AC (入退室管理システム)	984	1,065	1,250	<b>1,350</b>	+100	+37.2%
SECURE VS (監視カメラシステム)	2,268	2,600	3,000	<b>3,600</b>	+600	+58.7%
SECURE analytics (画像解析サービス/その他)	131	128	150	<b>150</b>	-	+14.0%
<b>営業利益</b>	△169	201	130	<b>180</b>	+50	-
<b>営業利益率 (%)</b>	-	5.3%	3.0%	<b>3.5%</b>	+0.6pt	-
<b>経常利益</b>	△183	195	120	<b>165</b>	+45	-
<b>税引前当期純利益</b>	△197	195	-	<b>-</b>	-	-
<b>当期純利益</b>	△227	162	95	<b>145</b>	+50	-

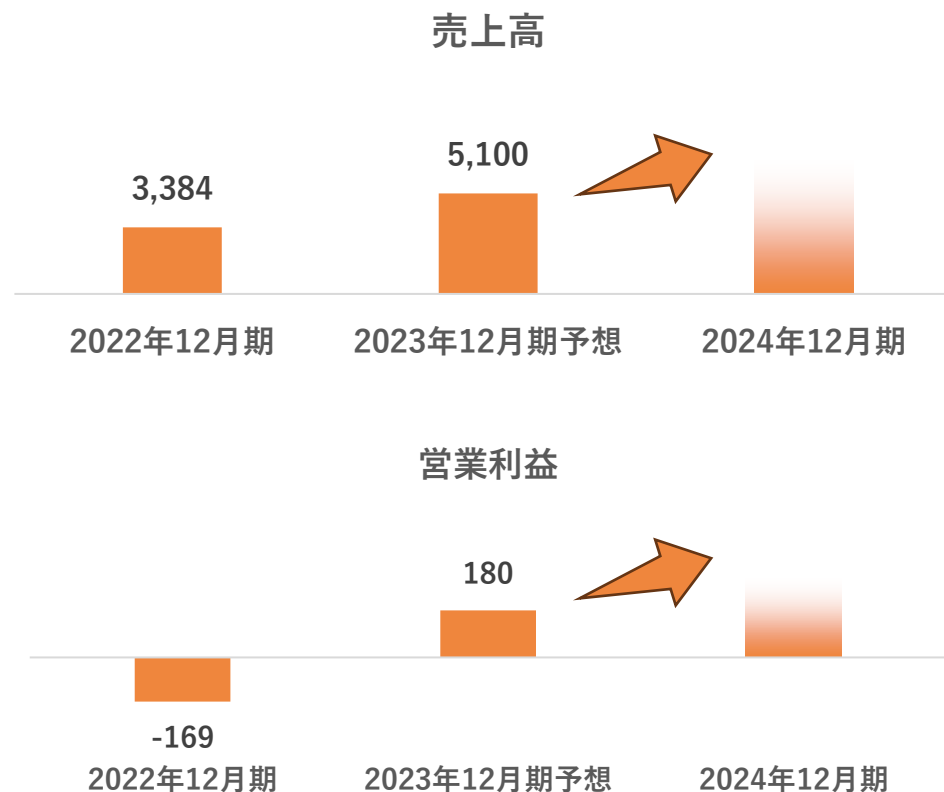
\*修正前業績予想は2023年5月12日に発表 / \*\*修正後業績予想は2023年11月10日に発表

営業強化とマーケティング活動に取り組んだ結果、**来期以降に向けたリードは順調に増加**  
 大型案件については不透明な点を踏まえ横ばいも、**通常案件の増加が成長に寄与する想定**  
 物理セキュリティに対する需要の拡大を背景に、投資を継続しながら**一定水準の増収増益を目指す**

## 来期の業績見込みの前提

通常案件	リードは順調に増加
大型案件	2023年12月期と同水準の見込み
採用・育成 関連	引き続き15~25人程度のセールス人員の純増を目指す。一方、案件の高度化に伴い人材育成は当初想定よりも一定期間を掛けて戦力化を図る（1~1.5年→1.5~2年）
販管費関連	マーケティングやR&Dを多く行った今期（2023年12月期）と比較した際、人員増等に伴う巡航の増加が中心となり大きくは増えない想定

## 来期業績イメージ



# 3つの成長戦略

① 既存ビジネス

パートナーの深掘・発掘

+

AI強化・SaaS強化

↓  
継続成長  
収益力UP

② Retail DX

AI STORE LAB  
収益化

↓  
新たな収益

SECURE

③ 海外展開

韓国・ASEAN  
への展開

↓  
市場の拡大



既存のセキュリティソリューション事業で基盤を固め、**SaaS型ソリューションやAI技術を活用した新規ビジネスで成長を加速**させ、安心安全でスマートな社会の実現を目指す。

方針

更なるAIの実装力を強化し  
企業価値の最大を図る

2022~2023年

AI STORE 事業

新規事業

③ 海外展開

② スマートビルディング

② スマートシティ

② AI STORE

① 既存サービスの拡大

監視カメラシステム  
SECURE VS

FaceTracker

SECURE  
AI Office Base

顔認証  
のぞき見ブロック

入退室管理システム  
SECURE AC

SECURE VSaaS

混雑COUNT

現在

事業基盤構築

AI実装を強化したサービスによる拡大

新規事業・海外展開での拡大